

平成 30 年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松友会	代表者	理事長 上田 慎子	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・法人グループ内で、グループホーム、特別養護老人ホーム等入所系施設があり、また居宅介護支援事業所、デイ、ショート等居宅系事業所もあり、総合的・継続的なサービスが提供できます。 ・事業所名である「オハナ」にはハワイ語で家族という意味があります。お互いに助け合うことをいとわない親しい友人や仲間のこともオハナと呼ぶことがあります。そうした関係性を大事にし、顔なじみのスタッフがご利用者個々のニーズに沿って柔軟な対応を行い、ご自宅、地域での生活をご支援します。また食事は施設内厨房で手作りし、季節にあった料理を提供しています。
事業所名	ピースフルライフ オハナ	管理者	伊藤 陽子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人(兼)	2人	0人	1人	1人	1人(兼)	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価の改善計画を事業計画に組み入れ、確実に実施していく。 ・事業所評価の在り方をスタッフ間で周知し、言葉の意味を理解したうえで評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議を中心に改善計画に基づいて話し合いをし事業計画に取り入れることが出来た。入職や移動などで新しい職員は事業所評価について理解が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標がしっかり立てられ、スタッフ一人一人が役割を持っていると思う。 ・細やかに目配り・気配り出来ていて一生懸命やっていると思う。 ・小規模なので、引き継ぎ方も難しいがよく出来ていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価での改善計画を職員で共有し実施していく。 ・事業者評価についてスタッフ会議で勉強会の時間を設け理解を深める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気を作り、過ごしやすい環境に努める。 ・誰でも入りやすい開放感と、防犯意識双方の意識を持つ。 ・運転に注意し、事故 0、違反 0 を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも入りやすい開放感があることと、不審者は入ってこないよう防犯の意識、両方を考えていかななくてはならないため、オートロックを使用。暗証番号を定期的に変更してきた。 ・もらい事故も含め 3 件の車両事故があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両事故があった。ルールを守っていても事故があるので気をつけていきましょう。 ・設問の鍵の項目はやまゆり園のような事件もあり安全上を考えると適正なのか疑問に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気を継続していく。施設の内外の整理整頓をし気持ちの良い環境を整える。 ・運転に注意し事故 0、違反 0 を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の場として「そうだ！オハナへ行こう」週間を設ける。(11 月を予定) オハナを開放し、もっとオハナを知っていただく。 ・板戸地区に回覧板を回していただき、周知する。ご利用者ご家族にも周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「そうだ！オハナに行こう」週間を実施し地域の方 1 名、ご家族 3 組の来所があった。自治会の回覧板を利用し周知したことに対しては不適切との意見あり。 ・手と手をつなぐ会など地域の方の見学を受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「オハナへ行こう週間」の協力で回覧板は利用してはいけないと地域者から意見があった。 ・オレンジカフェや地域のイベントに参加ができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや行事に参加する。 ・「そうだ！オハナへ行こう週間」を開催し地域の方やご家族にオハナを知って頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の方が利用に結び付けるように努める。 ・日頃の送迎、訪問中など周囲に対しても目配りをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェやのんびりハウスの行事に参加することが出来た。 ・毎年参加している福祉展では神奈川新聞の取材を受け新聞に載った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや行事には、参加出来る範囲で参加が出来ていると思う。 ・地域ケア会議があったら声をかけてもいいですね。認知症カフェにもまた参加して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動やイベントに参加し交流の機会を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で共有した地域のニーズに対し、事業所で解決できるケースは懇切丁寧に対応していく。解決できない時には、関連機関との連携を図り、解決に向けた行動をとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中では、利用者さん以外の地域の方の事例や相談ケースは上がらなかった。 ・地域の情報を得たり、問題を抱えているケースを共有し意見を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での心配の方の相談は何かあれば包括に相談すると思うので始めから小規模にくることはないと思う。 ・運営推進会議に参加して色々知ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で話し合われた内容を職員間で共有し提案や改善点を反映させていく。また問題の解決のため関連機関と連携を図っていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、事業所共に防災計画を確認し、災害時のことを想定しておく。 ・伊勢原市との災害時における福祉避難所としての協定に基づき、支援を求めて来た人、オハナを利用して頂いてる方に、安心して過ごしていただけるように心づもりをしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で年2回の防災避難訓練を実施し5月には自治会長さんの参加があった。10月は水消火器を使用した訓練ができた。また非常食を作り試食会をした。 ・9月には職員が板戸地区の防災訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所としてのマニュアルは必要だと市の方には伝えている。利用者数日分しか準備はないと思うので市から援助が必要になってくる。 ・らの里では炊き出し訓練もして使い方を学んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施を継続し、地域の方とも連携していく。 ・防災設備の業者の方に訓練に参加して頂き、取扱いの方法を再度学び実践する。
----------------------------	--	--	---	---